

2013年 2月 県議会報告

日本共産党岡山県議会議員団



森脇ひさき



氏平みほ子

2月定例県議会では、6561億8300万円（前年比74億6900万円(1.2%)増)の13年度当初予算が可決されました。予算には県民要求が一定反映された(前回の議会報告を参照ください)ものの、苫田ダムや瀬戸大橋への出資など税金の使い方として認められない内容もあり、日本共産党は反対しました。

氏平県議が質問



重度小児の在宅医療

保護者負担軽減へ一歩前進

氏平県議は、ウイルス性脳症の1歳半の小児が自宅での介護を希望し、往診医を探し回ったが見つからず、人工呼吸器をつけたまま通院・治療することになった事例を紹介し、「重度小児への対応が非常に薄い。県として対策を」と求めました。知事は、13年度から「岡山県小児・障害児在宅医療連携拠点事業」を実施することを明らかにし、「保護者への助言、地域の小児科医や福祉関係機関等との調整など、相談支援体制の整備を進めるほか、療養・医療センターを整備し、保護者の負担軽減を図る」と答弁しました。

内部被ばく測定、岡山でも可能に

自主避難者にも無料化など支援を

氏平議員は、岡山理科大学の研究室がおこなった「県内母子避難世帯を対象とする生活実態調査」報告で、県内の避難者は881人、アンケート回答者の70パーセントが自主避難であることを紹介。避難してきた理由は、鼻血が頻繁に出る、咳・のどの痛みなど子どもの体調の変化が長期に続いていることで、「子どもの命が危ない、母親としてできることは逃げる

【氏平県議の質問】

- ① 国政問題への知事の姿勢
・デフレ対策、TPP
- ② 生活保護行政について
・基準引き下げ、つなぎ資金
- ③ 子どもの医療について
・医療費補助の年齢拡大
・重度小児の在宅医療支援
- ④ 高齢者の住まいづくり
・放射能内部被ばく検査
- ⑤ アルゼンチンアリの駆除

ことと考えたからです」とのべました。

県内では13年度から岡山医療センターにある内部被ばく検査機器が使用できることをあげ、「放射能被害から逃れ、県内に避難している方は、多くの困難を抱え、特に内部被ばく検査の要求が高い、自主避難者もふくめ無料で検査を受けられるようにすべき」と求めました。

知事は、福島県からの避難者については、「同県と協議を進め、県内検査の検討を行う」とし、自主避難者には、「岡山を選んでよかったと思っただけのようしっかり応援していきたい。その応援の内容については、担当部局と相談しながら検討したい」と答えました。

安価で入れる高齢者住宅を

国が進めるサービス付き高齢者向け住宅は、利用者負担が重く、国民年金や低額な遺族年金で暮らす多くの高齢者は入居困難。氏平県議は、県営住宅を改修することで安価で入れる高齢者住宅をつくるよう提案しました。

知事は、「県営住宅としてサービス付き高齢者向け住宅の整備は考えていない」としながらも、「市町村の福祉部局がライフサポート・アドバイザーによる生活支援等をおこなうシルバーハウジングを整備するなど、事業の可能性をふくめ協議する」と答弁しました。



金山寺の火災をうけ、文化財保護について
県教育長に申し入れ (1月22日)



「いじめのない学校と社会を」——日本共産党の提案をもって教育長と懇談



「働くみなさんへのアピール」——日本共産党の提案をもって県産業労働部長と懇談



倉敷駅鉄道高架事業の中止を求める要請
(民主県政をつくる会とともに、2月21日)

議案の採否結果

○=可決 ×=否決

	共産	自民	民・県	公明	県・緑	無所属	結果
平成25年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○
独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への出資額変更(瀬戸大橋通行料金を引き下げたため出資 24~25年度に県負担23.5億円)	×	○	○	○	○	○	○
広域水道企業団への出資(苦田ダムの余水 6億円)	×	○	○	○	○	○	○
職員の退職手当を引き下げる条例「改正」	×	○	○	○	○	○	○
債権管理条例(滞納の取立て強化につながる)	×	○	○	○	○	○	○

陳情の採否結果

○=採択 ×=不採択 △=継続審査

	共産	自民	民・県	公明	県・緑	無所属	結果
私学助成の増額(ゆきとどいた教育をもとめる会、私学助成をすすめる会)	○	△	○	○	△	△	△
生活保護の後退に反対する意見書を(社会保障推進協議会)	○	×	×	×	×	×	×
年金削減の中止の意見書を(年金者組合)	○	×	×	×	×	×	×
保険薬局へも無料低額診療事業を(民医連)	○	×	×	×	×	×	×
困難を抱える学校には養護教諭の複数配置を(高教組)	○	×	×	×	○	※	×
養護教諭の臨時を解消し正規採用に(高教組)	○	×	×	×	○	※	×

「※ 印」は、無所属議員のうち、佐古議員(倉敷)・古山議員(浅口)は反対、若井議員(岡山中区)は賛成

議員発議の採否結果

○=可決 ×=否決

	共産	自民	民・県	公明	県・緑	無所属	結果
議員の報酬10%カット(ボーナスはカットなし) 自民党提案	×	○	×	○	×	○	○
議員の報酬15%カット(ボーナスも15%カット) 共産、民県、県緑提案	○	×	○	×	○	×	×
政務活動費の全領収書開示を 共産、民県、公明、県緑提案	○	×	○	○	○	※	×

「※ 印」は、無所属議員のうち、佐古議員(倉敷)・古山議員(浅口)は反対、若井議員(岡山中区)は賛成

森脇県議が討論

13年度当初予算に反対

福祉・教育のさらなる充実こそ

予算には、私学助成の増額やスクールソーシャルワーカーの増員など県民要求が反映された内容があるものの、苫田ダムのいわゆる「余り水」への支出や本州四国連絡高速道路への出資という、税金の使い方として問題ある内容を含むとともに、障害者医療費助成、正規教員の増員など県民の強い要望は反映されなかったと指摘し、「医療・福祉、教育のさらなる充実こそ、県民が安心でき、地域を元気にすることにつながる」とのべ反対しました。

本四公団への出資は問題あり

議案のうち、瀬戸大橋など本四高速の通行料金を全国共通の料金に引き下げることの出資（2年間で約50億円）については、①瀬戸大橋の通行料金引き下げが宇高航路に重大な打撃を与えていること、②宇高航路の存続と港街の振興という課題解決の展望も見えないのに高速料金を引き下げるとは、宇高航路と街の振興をさらに困難にすること、③国によっておこなわれた高速道路通行料金の無料化・割引施策は、温室効果ガスの増加という地球環境への影響も懸念されていることを指摘し、「高速道路の通行料金は、単に『安いから良い』ということにはならず、こういう分野にこそ受益者負担を貫くべき」として出資に反対し

ました。

自治体の仕事は暮らし・営業まもること

債務管理の効率化をはかることを目的とした「債務管理条例」が提案されました。これは、単に帳簿の管理・整理にとどまらず、「焦げ付き」を生じさせないための早期回収、「厳しい取り立て」を強めることにもつながります。森脇県議は、滞納整理推進機構を中心としたこの間の「厳しい取り立て」に泣かされる県民や事業者が急増していることを指摘。長く続く不況、失業、病気など、様々な理由で「払いたくても払えない」県民や事業者が増えており、「命と暮らしを守るべき自治体」が、「命と暮らしを脅かす自治体」に変質させてはならないと、反対しました。

政務調査費の領収書公表

全国で岡山県議会だけが条件つき

岡山県を除く全都道府県議会でも政務調査費にかかわる全ての領収書を公表することになりました。自民党岡山県議団は、相変わらず全領収書の公表に反対。公表対象を「1万円超」と、条件をつけているのは岡山県議会だけとなりました。

日本共産党 岡山県議会議員団

森脇ひさき 氏平みほ子

2013年 4月 No. 10

〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4-6 岡山県議会内

TEL 086-226-7412 FAX 086-231-2187

ホームページは日本共産党岡山県議団で検索してください

お気軽にご意見・ご要望をお寄せください